学校番号	T3036

令和８年度　学教養科

教科	学教養	科目	(学)日本語入門Ⅲ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	担当者作成プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・外国にルーツがあり、日本語に不安のある人のための講座です。
・ひらがなやカタカナ・漢字の書き方や、文法、読解、会話など、個々の学習ニーズに応じた内容を基礎から丁寧に学習していきましょう。
・日本語能力試験の受験もサポートします。

2　学習の到達目標

（１）文字や初歩的な語彙、文法を身につけ、短い文章の読み書きができる知識・技能を身につける。
（２）日常会話で用いられる定型文や語句を理解し、必要な情報を正確に聞き取ったり相手に伝えたりすることができるようになる。
（３）日本語を使って、コミュニケーションをとり、相手に自分の意思を伝えようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本語能力試験の問題を活用した学習を通して、文字や初歩的な語彙、文法を身につけ、短い文章を読み書きができる知識・技能を身につけている	教科書やニュース記事などに書かれている内容をおおよそ理解し、必要な情報を正確に読み取ったり、会話から必要な情報を聞き取ったり相手に伝えたりする力を身につけている	基礎的な日本語を活用して、自分の考えや意見を言葉で発したり、コミュニケーションをとったりすることに積極的に取り組もうとしている
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	日本語の文法１	日常生活を送る上で必要となる表現の学習	a:ひらがな、カタカナの定着を図り、読む・書く・聞く・話す、の４つの技能を身につけている。 b:基本的な日常的な会話を聞いて理解し、日本語を用いて自分の意見を伝えることができる。 c:日本語で意思表示をするため、積極的に読んだり書いたりしようとする。	ワークシート 小テスト	ワークシート 小テスト	ワークシート 授業態度
	日本語の文法２	適切に日本語を活用するために必要な文法、語彙の学習	a:易しい漢字で書かれた定型的な語句や文章を読んで、おおまかな内容を理解することができる。 b:適切な表現を選択することができる。 c:日本語で意思表示をするため、積極的に読んだり書いたりしようとする。	ワークシート 小テスト	ワークシート 小テスト	ワークシート 授業態度
後期	文章をつくる１	日常生活を送る上で必要となる語彙を使った短文を書いたり話したりすることができる	a: ひらがな・カタカナ・漢字を正しく使い、主語と述語が明確になった文章を作成することができる。 b:正しい日本語を使って、短文を作成し、適切に表現することができる。 c:積極的に読んだり書いたりしようとする。	ワークシート 小テスト	ワークシート 小テスト	ワークシート 授業態度
	文章をつくる２	自分の意見や感想などの短文を、日本語を使って書いたり話したりすることができる	a: ひらがな・カタカナ・漢字を正しく使い、主語と述語が明確になった文章を作成することができる。 b:正しい日本語を使って、文章を作成し、自分の意見を適切に表現することができる。 c:積極的に読んだり書いたりしようとする。	ワークシート 小テスト	ワークシート 小テスト	ワークシート 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度